

人生二毛作社会推進事業について

健康増進課

予算額	15,438 千円（国庫補助※）
-----	------------------

※「地方創生先行型」交付金活用

1 事業の趣旨

高齢者が生きがいを持って暮らすことのできる「人生二毛作・生涯現役社会」の実現を目指し、長野県長寿社会開発センターにシニア活動推進コーディネーターを配置し、関係機関の連携体制の構築や、社会参加に係るマッチングなどを行うことにより、高齢者が知識、技術、経験を活かし、社会活動や就業など、社会参加できる仕組みづくりを推進する。

2 事業の内容

(1) 社会参加促進の仕組みづくり

(事業費 14,663 千円)

長野県長寿社会開発センター本部（長野）及び支部（上小・諏訪）に、シニア活動推進コーディネーターを配置し、圏域における連携体制の構築・強化等を推進。

ア 関係機関の連携体制・機能強化

- ・地域ごとの関係機関（社会福祉協議会やハローワーク、シルバー人材センター等）によるネットワーク会議の開催等により、連携・機能の強化を図る。

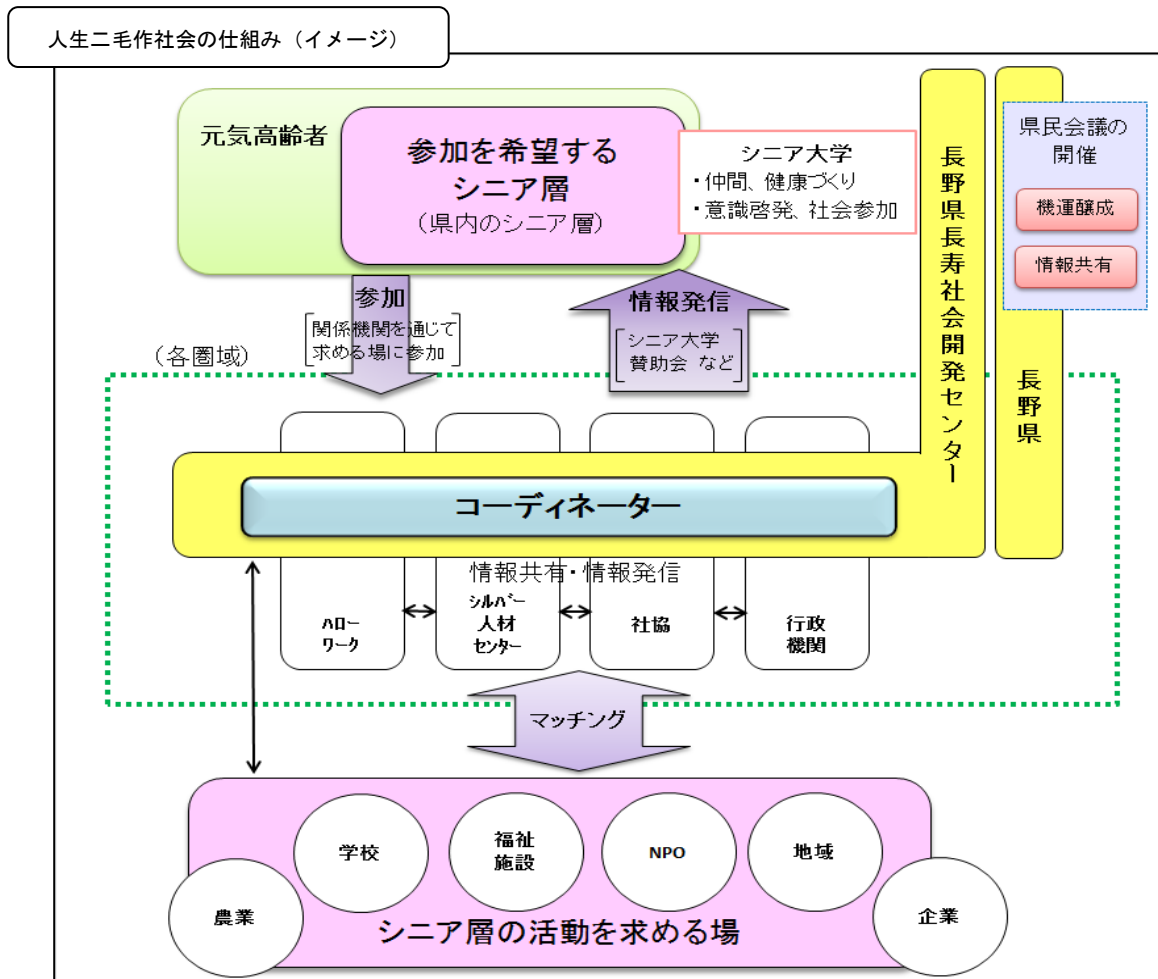
イ 高齢者の社会参加促進のマッチング

- ・地域の高齢者の社会参加活動に関する情報の収集、地域の課題や関係機関・高齢者のニーズを把握し、情報発信。
- ・高齢者それぞれの知識、技術、経験などを活かし活躍できる場（機会）を提案し、関係機関と連携して社会参加活動のマッチングを実施。
- ・「シニア層の活動が求められる場」と「活動を希望するシニア層」をより効果的・効率的にマッチングできるシステムの検討。

(2) 人生二毛作推進県民会議の開催

(事業費 775 千円)

県レベルで関係機関・団体による会議を開催し、社会参加促進の機運醸成を図るとともに、コーディネート活動に関する情報共有や検証など、人生二毛作の仕組み推進のための検討を行う。



〔参考：平成 26 年度の活動実績〕

コーディネーター活動	社協やボランティアセンター、NPO 等からの求人並びに社会参加に関する相談への対応 〔H26. 4 月から H27. 3 月までの延べ相談件数 1,663 件（約 130 件/月）〕		
	マッチング事例	就労	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者支援施設における雇用（休日の同行援護）。 シニア大学でのフィールドワークがきっかけで長野市社協に就職。 障がい者の農業就労チャレンジサポーターに新たに 2 名のシニアが登録し、活動。
		学校支援	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援コーディネーターと連携しての信州型コミュニティスクールへの参加
	地域活動ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺防止活動や高齢者、障がい者の外出支援ボランティアへの参加 認知症カフェ運営へのボランティア参加 諏訪湖アートリング検定後の美術館ガイド等の活動に参加 長野市立博物館の企画（シニアグループによる昔遊び）演出（H27 から実施） 	
圏域での連携体制など仕組みづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 社協やハローワーク、シルバー人材センター等相談機関による情報交換の定期開催、シニア世代と活動団体、相談機関が参加し、その場で相談ができる情報交換会の開催など、圏域での二毛作の仕組みづくりの推進。 		
タウンミーティング	<p>高齢者の社会参加促進に関する意識啓発を図るため、「シニア層の社会参加」をテーマに県民参加のタウンミーティングを開催（12 月～3 月、10 圏域で開催）</p> <p>〔開催例〕 上小地域（H26. 12. 16） テーマ：「シニアの力で社会を変えよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の社会参加の事例（学校支援ボランティア、高齢者サロン）の事例発表 「シニア世代にできること、期待すること」等についての意見交換 		
人生二毛作県民会議	<p>【第 1 回（H26. 5. 19）】複数テーマ（子ども・学校支援、地域づくりへの高齢者の参画など）について関係機関による意見交換を行い、課題の把握と改善策を検討。</p> <p>【第 2 回（H26. 10. 21）】コーディネーターの活動を中心とした人生二毛作の具体的な取組について検討。</p>		